

粒状改良土(建設発生土のリサイクル)



用途：テールアルメの盛土材
テールアルメGS/ヒロセ
工事件名：(仮称) 飯能大河原線道路改良工事
(飯能1工区—本郷入)

粒状改良土

$\phi=32^\circ$ $c=20\text{kN/m}^2$ $\gamma=15\text{kN/m}^3$

■概要

粒状改良土は、土質改良プラントにて、高分子改良剤(ソイルハート)により、建設発生土を粒状化させ、さらに生石灰を使用することによりそのまま固化させたもので、粘性土を良質の砂と同等にして再利用するものです。

■用途

- ①上下水道等埋設管路工事の埋戻材
- ②擁壁(補強土壁等)の裏込め材及び基礎地盤の置換材
- ③構造物周りの埋戻材
- ④河川・道路の盛土材
- ⑤グラウンド・公園の下層材

■物性と設計定数

(日本粒状改良土協会資料より)

項目	単位	結果
土粒子の密度	g/cm^3	2.67
最大乾燥密度	g/cm^3	1.27
最適含水比	%	36.2
透水係数	m/s	10^{-5}
CBR	%	19.6
コーン指数	kN/m^2	1200以上
単位体積重量	kN/m^3	15
せん断抵抗角(内部摩擦角)	$^\circ$	32
粘着力	kN/m^2	20
許容支持力	kN/m^2	350

※三軸圧縮試験：CD条件

●テールアルメ等擁壁の盛土材・裏込め材、基礎地盤の置換材におすすめです。

<施工年度> 平成27年度6月
<施工場所> 飯能市飯能地内
<発注機関> 飯能市役所

株式会社加藤建設工業 武蔵プラント

埼玉県日高市上鹿山795-3

TEL 042-985-9701

URL <http://www.katoh-kk.co.jp>